

4. 大学生グループ



熊本学園大学子ども家庭福祉学科の大学生・大学院生。

学科・専攻の特徴として、子育てに関心があると考えられる学生だが、自分のこととして結婚・育児について意見を伺った。

インタビュー後の感想からは、普段は結婚や子育てのことを友人同士で話し合うことがなく、「他の人の意見が聞けて参考になった」、「自分が疑問に思っていたことが解消された」などが出されている。

結婚のことや子育てのことについて、友人同士で話し合うきっかけを用意することも、結婚や子育ての意識づくりにつながることを示された。

参加者のプロフィール（本人記入）

番号	年齢	（実家の）家族構成	出身	学年
1	23 歳	母・妹	別府市	大学院 1 年次
2	21 歳	父・母	益城町	学部 4 年次
3	21 歳	父・母・弟 2 人	熊本市	学部 3 年次
4	21 歳	父・母・姉	阿蘇郡	学部 4 年次
5	22 歳	父・母・妹	宮崎県	学部 4 年次
6	21 歳	父・母・妹・姉 2 人	鹿児島県	学部 4 年次
7	20 歳	母・姉	芦北町	学部 3 年次
8	21 歳	父・母・長男・次男	佐賀県	学部 3 年次
9	21 歳	父・母・長男・長女・祖母	天草市	学部 3 年次
10	21 歳	父・母・妹	植木町	学部 3 年次
11	21 歳	父・母・姉・兄	宇城市	学部 4 年次

(主な意見・アイデア等)

最初に、結婚と子育てについて日頃感じていることをカードに書いていただいた。

●結婚のイメージについて

- ・プラスイメージとして、「幸せ」、「お互いに高め合っていける」、「家族を持つ、家族の人数が増える」などが挙げられた。とくに、友人や姉の結婚式に出たことで、結婚を身近に考える機会になったとされた。
- ・マイナスイメージは、「制約が増える」、「自分の時間が持てなくなる」ことや、「仕事と家事との両立が大変」、「相手の嫌な部分が見えてストレスがたまりそう」、「相手の親と一緒に住むと大変そう」などが挙げられている。

●子育てのイメージについて

- ・プラス面として、「子どもの成長に感動できる」、「子どもとともに自分も成長する幸せを感じる」、「どんな子が育つか楽しみ」などの期待感が出された。
- ・マイナス的なこととしては、「一人ではとてもできない」、「育児をきっかけに母親がヒステリックになる」、「子育ての悩みを相談できる人がいないとつらい」、「我慢することが増える」などの考えが出された。

以上のような、プラス面とマイナス面のイメージがあるということから、次のような意見につながった。

●少子化対策と結婚のこと

- ・結婚のよさやメリットを伝えることも大事だが、結婚自体や子どもを『産む産まない』は、あくまで個人的なこと。少子化だからといって、行政や他人が直接関わることはできない。
- ・大事なのは、「子育ては楽しい!」ということを広げること。これがあれば、自然と、結婚や出産につながっていく。
- ・今は、「子育てが負担」など、あまりに子育てにマイナスイメージが広がっている。兄や姉、年上の従兄弟などがいて結婚式に出たり子どもが産まれたりしないと、結婚や子育てが身近に感じられずマイナスイメージにつながりやすい。

大事なのは、子育ての楽しさ・有意義さの確認